

【事例紹介】

官民連携によるデジタル技術活用を通じて
防災と日常生活の両立を図る
スマートシティ構想の取組



すさみ町

Susami Town

2026/03/10

すさみ町役場 地域未来課
地域活性化起業人 木村篤
(出向元：ソフトバンク株式会社)

1.和歌山県すさみ町の概要

[位置] 紀伊半島の先端に位置し、
羽田空港から熊野白浜リゾート空港
利用し1時間強で訪れることが可能

[地勢] 面積174.45^{km}
町土の約93%は林野
平地は海岸線を中心にわずか

[人口] 3,450人 (R7.3.31現在)

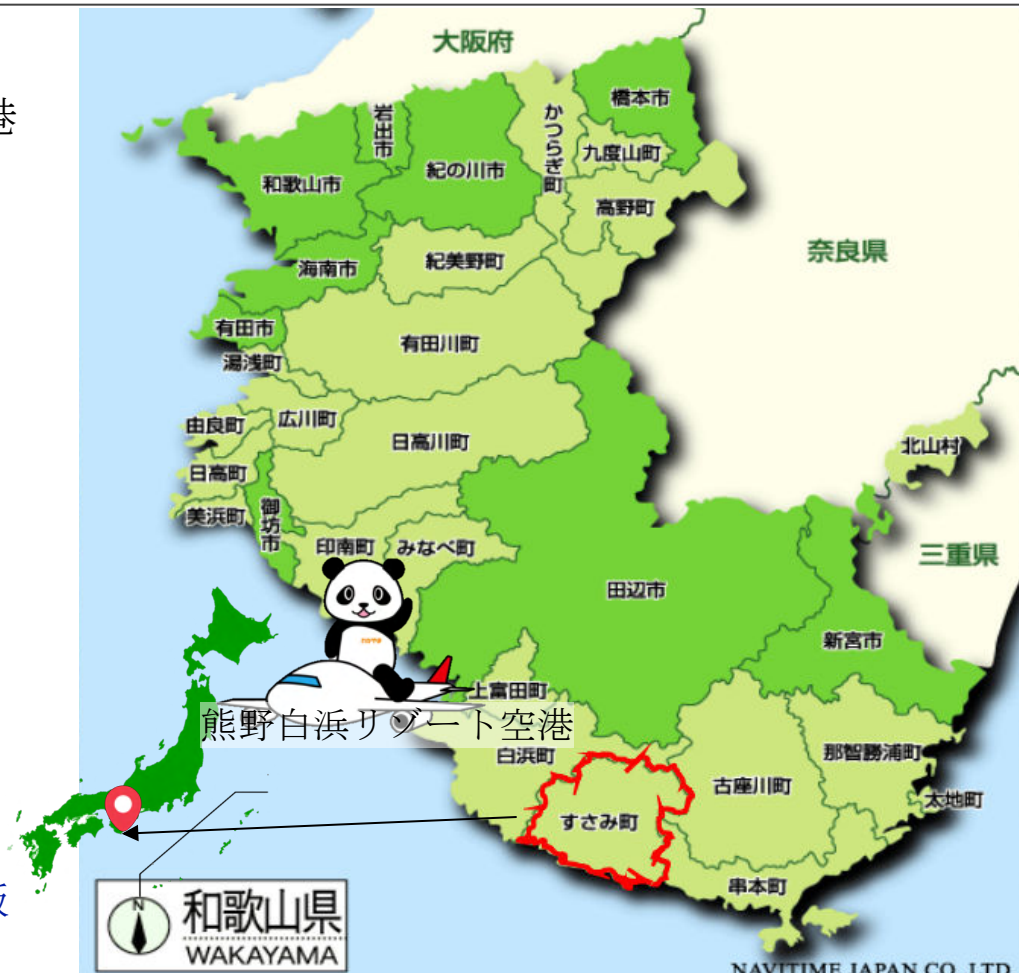
[主要産業] 農林漁業、観光業



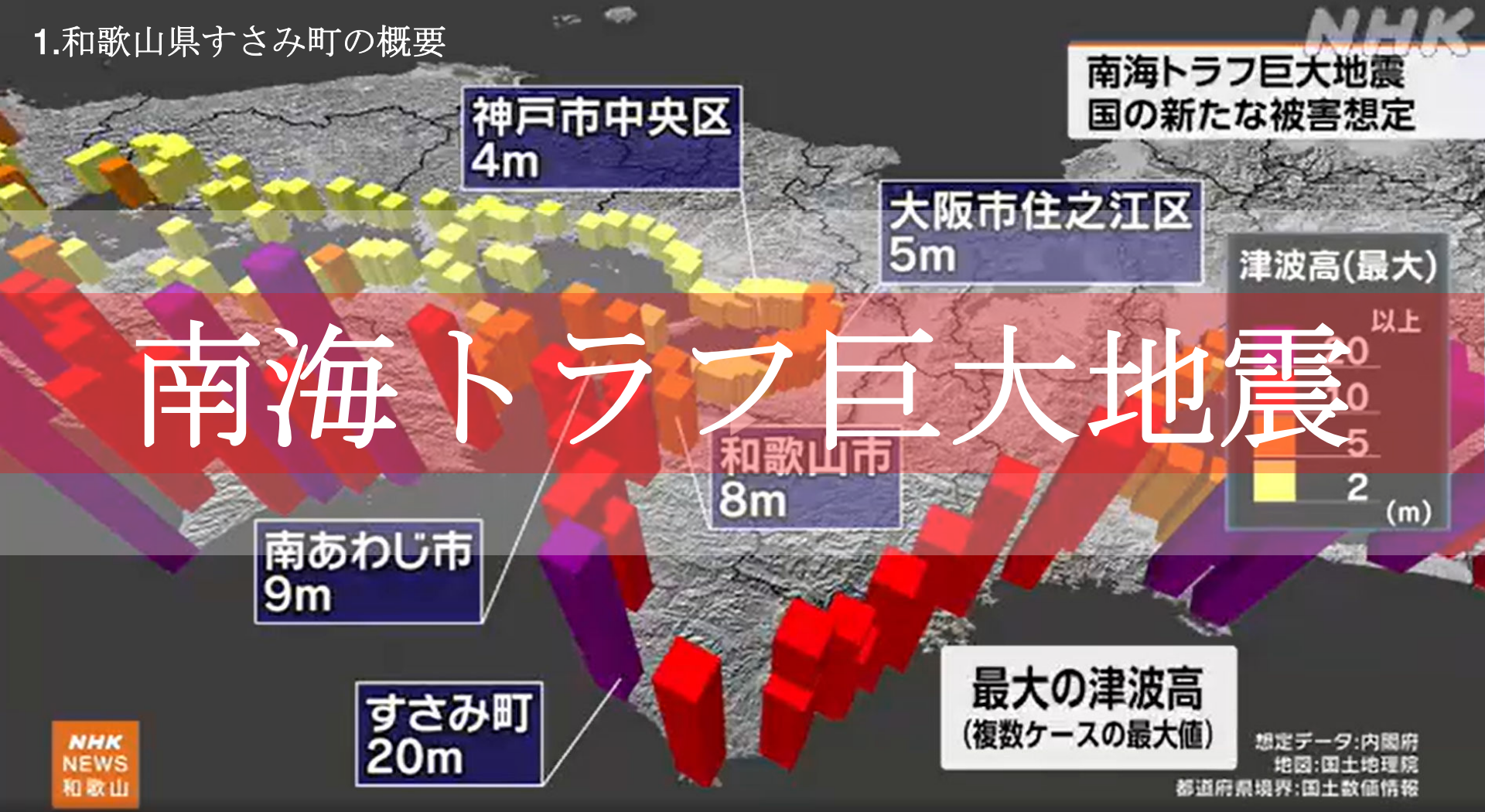
すさみケンケン鰹



世界文化遺産
熊野古道大辺路長井坂



1.和歌山県すさみ町の概要



南海トラフ大地震の予測や被害規模の想定

出典：※1 平成26年 和歌山県地震被害想定調査 報告書 ※2 平成29年 和歌山県の地震津波対策について

南海トラフ地震の想定被害

人的被害 約**2,000**名

全壊 約**2,000**棟

半壊 約**830**棟

※1

南海トラフ地震での
最短津波到達時間

津波高**1m 3分**

※2

南海トラフ地震の津波被害
津波による死亡者

85%
(死亡者数約**1,700**名)

※1

孤立避難所の
発生見込み

20ヶ所以上

-Smart City Vision

平時・有事でシステムを共有するエコシステム

平時



有事

例) 住民/観光客への情報発信サイト



2.スマートシティの取組

官民連携組織	すさみスマートシティ推進コンソーシアム
設立日	令和3年8月30日
目的	産学金民官連携により、IoTやAIを含むICT等の先端技術を活用しながらスマートシティを目指し、 地域の抱える防災、観光、交通、経済、高齢化等の諸課題を 解決するとともに、人々の生活の質を高め、 全体を最適化させながら持続的な発展が可能なまちの実現を目指す
参加団体	すさみ町 一般社団法人すさみ町観光協会 ソフトバンク株式会社（防災WG幹事） 株式会社ウフル（観光/教育WG幹事） 株式会社南紀白浜エアポート ベル・データ株式会社 Milab株式会社 MONET Technologies株式会社（MaaS WG幹事）
アドバイザー	和歌山県

2.スマートシティの取組



SoftBank

TrueBizon
株式会社トルビズオン

mapbox

uhuru

BELGROUP

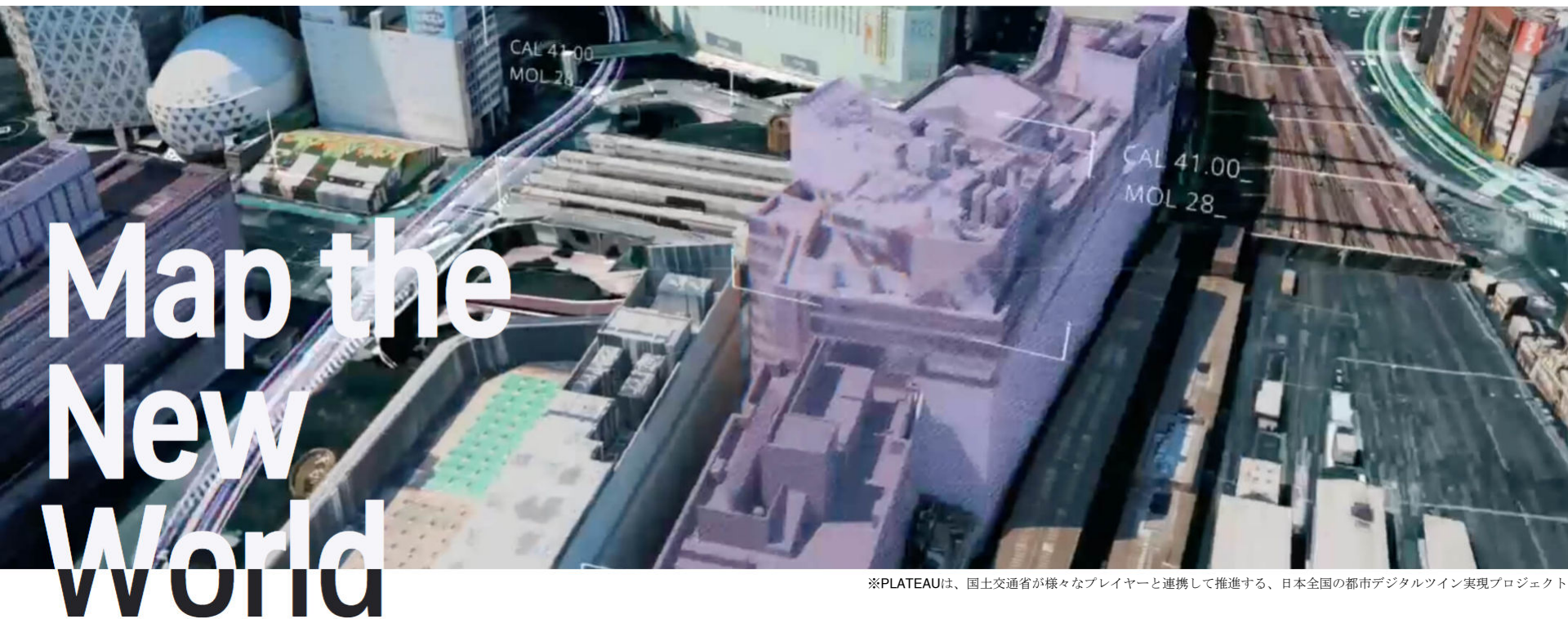
milab株式会社

SoftBank

MONET
MONET TECHNOLOGIES INC.

3. 3D都市モデル整備

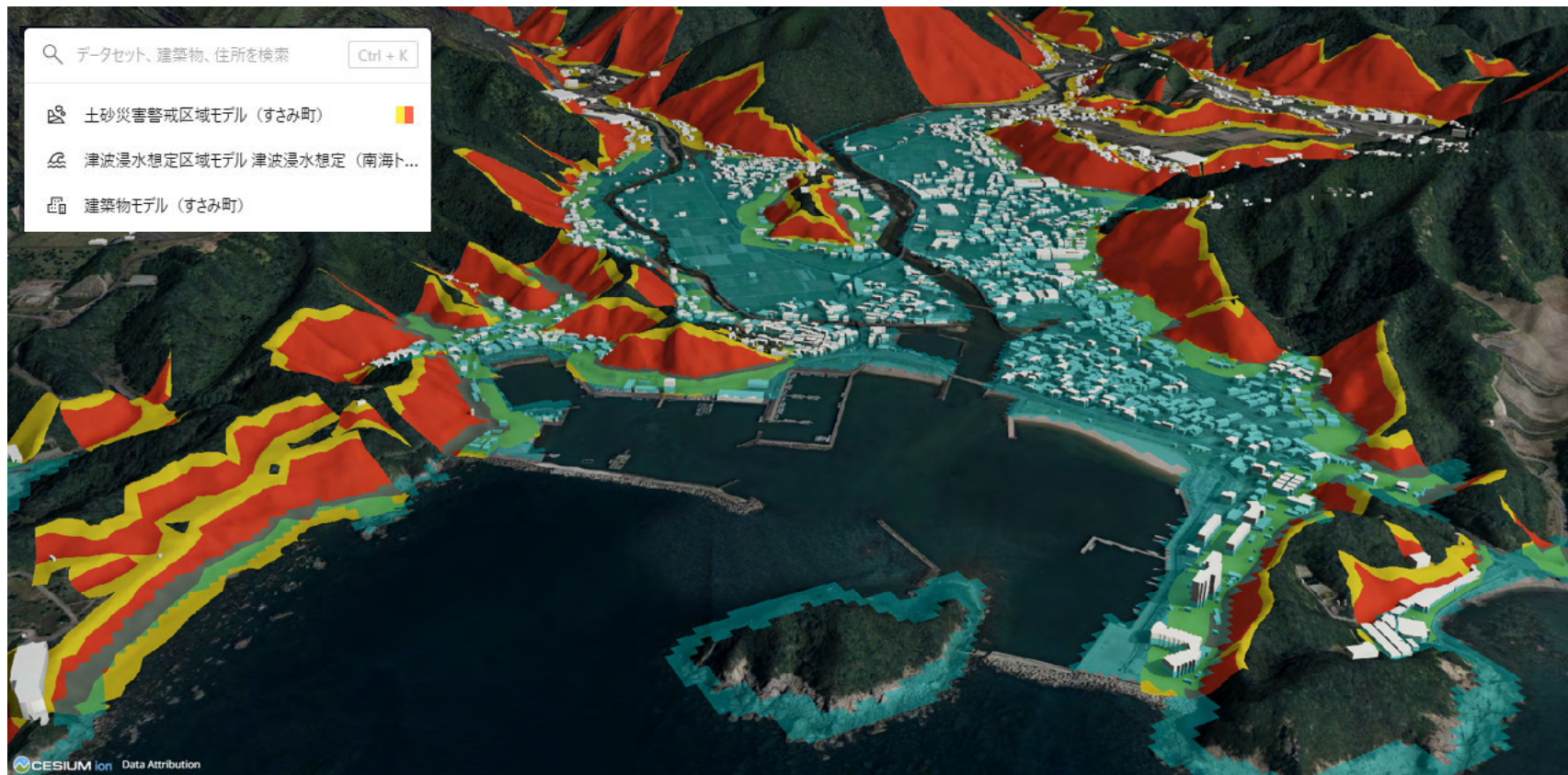
国土交通省推進のPLATEAU※プロジェクトに参加



※PLATEAUは、国土交通省が様々なプレイヤーと連携して推進する、日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクト

3. 3D都市モデル整備

すさみ町全域 令和5～7年度に整備



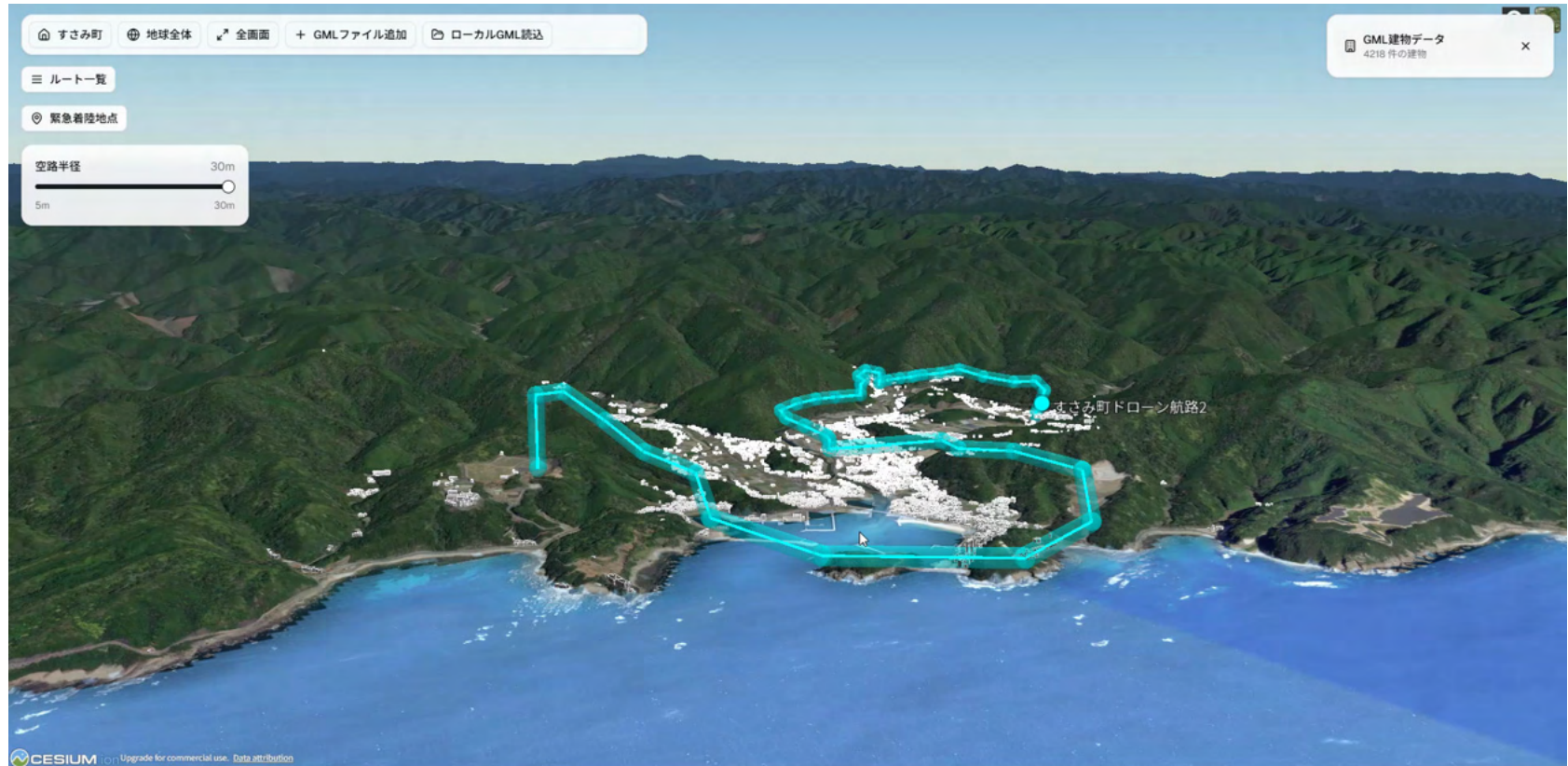
避難訓練GPS情報と津波シミュレーション重ね合わせ



津波浸水エリア

避難訓練参加者

3DMAP上に建築物データ/ドローン航路を構築



被災想定外地域からドローン遠隔操作



被災直後の津波警報/津波浸水エリア点検訓練実施

点検・放送ドローン2台同時航行

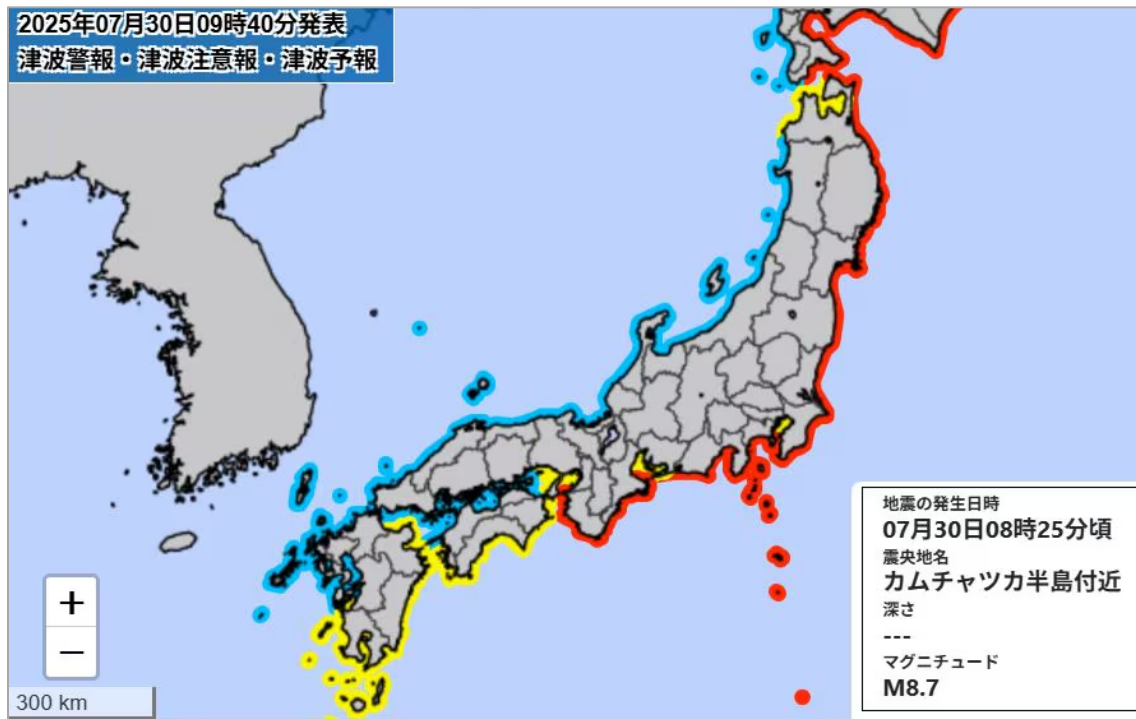


点検映像の広域配信



6. 【有事】遠隔操作自動航行ドローン

津波警報に対し3DMAPでの事前設定航路を活用したドローン点検実施



気象庁によると、30日午前8時25分ごろ、カムチャツカ半島付近で地震が発生。

地震の規模（マグニチュード）は8・0と推定されている（その後8・7に変更）。太平洋側を中心に、北海道から本州、九州まで広い範囲に津波注意報を発表。

その後、一部で津波警報に変更した。予想される津波の高さは3メートル。

※7/30(水) 9:36配信 [yahoo!速報より](#)

孤立避難所（想定）へ20kg物資配送

水10ℓ食料10kgを梱包



ドローン離陸の様子



町内ボランティア連携にて医薬品・お弁当を高齢者へ配送

LINE活用でボランティア
依頼・支援者マッチング



医薬品梱包



物流ドローン活用



事前作成済み航路を自動航行



ラストワンマイルの
ボランティア配送



配送と本人確認



合計**380**回※1,総航行距離約**1566.6**km,総運搬重量**428**kg (物流111回) 実施
※令和3年～7年度実績

自動航行ドローン活用

複数ドローンの航行

災害発生後、すぐに津波状況を確認できるよう、防災センターや道の駅から、同時にドローンを飛ばし点検。また、避難誘導・防災無線のための訓練として、高台への避難訓練の周知を日本語・英語で実施。



緊急着陸

能登半島地震の際、ヘリが飛ぶとドローンの飛行が禁止された。お互い共存するために、ヘリが近づくと、ドローンが自動的に緊急着陸し、ヘリの通過後、航行を再開させる試験を行った。



ドローンポート

今回初めて実用化したドローンポートは、格納式の発着拠点。24時間365日、遠隔操作し自動航行が可能。現地対応が困難な場合でも稼働が可能となり、災害時の活躍が期待される。



物流ドローン

険しい山道7～8km超えた先にある孤立避難所に、ドローンで1kg分の医薬品を運ぶ訓練を実施。災害時に命に直結する薬を迅速に運搬するドローンに期待。



7.2025 国際首長フォーラムでの事例紹介

「2025 International Mayors Forum（国際首長フォーラム※）」ですさみ町の岩田勉町長が登壇

3 / 35

2025 INTERNATIONAL MAYORS FORUM

Session 1: Digital Connectivity for Preparedness and Resilience – Data and Infrastructure

📍 Toyota City, Japan 📅 October 14 ⌚ 11 AM





MODERATOR: MS. SANJEEVANI DILANTHI SINGH
Economic Affairs Officer, United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific (UN ESCAP)



HON. MR. TSUTOMU IWATA
Town Mayor of Susami Town, Japan



HON. MR. LINNE YUN
Deputy Governor of Siem Reap Province, Cambodia



MR. MITSUHIRO YAO
Counsellor for Global Strategies, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Japan



MS. SON HYE YOUNG
Director of Innovation and Growth City Strategy Division, IFEZ, Incheon · AI Smart City to Foster AI-driven Solutions

For more information: 



United Nations | Department of Economic and Social Affairs



UN-HABITAT



豊田市
Toyota City



7.2025 国際首長フォーラムでの事例紹介

3D都市モデルを活用したすさみ町スマートシティの取組を発表




※本フォーラムは、国連経済社会局（UN DESA）と国連人間居住計画（UN-Habitat）が主催で、世界各国の市長や地方自治体の代表が一堂に会し「Actions Today for a Resilient Future - Localizing the SDGs and Advancing the Pact for the Future」をテーマに、SDGsの実現と災害に強いまちづくりについて議論が行われました。

7.2025 国際首長フォーラムでの事例紹介

ルワンダ共和国キガリ市長との会談の様子





ご清聴を
ありがとうございました



すさみ町

Susami Town